



ひがしなるせ

議会だより

発行
No. 140

平成18年4月20日

こんなことが決まりました……………	2
主な予算・条例など……………	4
一般質問……………	6
村長の施政方針……………	9
予算審査……………	10
私もひとこと(岩井川・谷藤優輝さん)……………	12

成瀬川 躍動の春

(遠くに三界山を望む 18.4.15)



(やまゆり保育園卒園式)

こんなことが 決まりました

三月七日から十四日までの会期で定例会が開かれ、平成十八年度の各会計予算や平成十七年度の各会計補正予算並びに各種条例の制定及び改正などの議案が提出された。
会期の最終日には、議員発議による国の機関などへの意見書案が提出され、これらすべての議案は全会一致で原案可決・同意・承認された。

3月定例会

教育委員会委員の任命に同意

十八年三月二十二日で退任する教育委員の後任として、次の方を任命することに満場一致で同意した。



鶴 飼 孝 氏
61歳
横手市増田町増田
【新任】

政府に意見書を提出

……地方の道路整備の促進と財源の確保について……東成瀬村の道路事情は、村内の国道二路線が冬期間通行止めとなり、袋小路となるなど依然として立ち遅れている状況にある。災害及び救急医療に強い村づくりをするためには、国道の通年通行化の実現が望まれているところである。

このような状況の中で、政府・与党では「道路特定財源の見直しに関する基本方針」が一般財源化を図ることを前提に合意決定された。

このため、東成瀬村議会では、立ち遅れている地方の道路整備促進のため、道路特定財源を一般財源化することなく、現行の枠組みを堅持するとともに道路整備に必要な予算の確保を図り、重点配分することを強く要望する意見書を政府に提出した。



11人が笑顔の巣立ち

一月臨時会

一月十六日に臨時会を開催。一般会計補正予算の議案が提出され、全会一致で可決された。

補正予算の主な内容

- 合併処理浄化槽設置事業改修費補助金追加……………二千五百六十五万円
- ジュネスカップスキー大会委託料追加……………六十万円
- 冬期交通対策費追加……………二千二百四十万円
- 平良地区集会所建設工事費……………二千四百十万円
- 中学校体育館大規模改造事業費……………二億二千五十五万円

村有施設の指定管理者を指定

管理を行わせる公の施設の名称	指定管理者となる団体
東成瀬村栗駒山荘	秋田栗駒リゾート(株)
ジュネス栗駒カントリーパーク	秋田栗駒リゾート(株)
ジュネス栗駒スキー場	秋田栗駒リゾート(株)
東成瀬村ジュネス休養センター	秋田栗駒リゾート(株)
東成瀬村大柳沼自然公園	秋田栗駒リゾート(株)
東成瀬村畜産センター	こまち農業協同組合

【指定の期間】平成十八年四月一日～二十三年三月三十一日

四月臨時会

四月十一日に臨時会を開催。平成十七年度一般会計補正予算等の専決処分等の報告や条例改正及び工事請負契約等の議案が提出され、すべての議案等が原案どおり全会一致で可決・承認された。

中学校体育館大規模改造工事請負契約の締結

- 契約目的……………東成瀬中学校(屋内運動場)大規模改造工事建築工事
 - 契約方法……………指名競争入札
 - 契約金額……………一億三千九百二十二万五千円
 - 契約相手方……………湯沢市岩崎字岩崎百十番地株式会社 和賀組
- 代表取締役 和賀直志

平成18年度当初予算 中山間地域総合整備事業費など 26億7千5百万円の一般会計予算を可決

案 件
東成瀬村教育委員会委員の任命について (2ページに関連記事掲載)
東成瀬村個人情報保護条例について
東成瀬村犯罪被害者等支援基本条例について
一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
東成瀬村災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について
東成瀬村土地開発基金条例の一部を改正する条例について
指定管理者の指定について (3ページに関連記事掲載)
湯沢雄勝広域市町村圏組合の共同処理する事務及び規約の変更について
湯沢雄勝広域市町村圏組合の共同処理する事務の廃止に伴う財産処分について

17年度一般会計補正予算の主なもの

- ◎公用車修繕料等追加・・・・・・・・・・ 109万円
- ◎地区集会所建設事業費補助金追加・・・・・・・・ 113万円
- ◎農業夢プラン応援事業費補助金追加・・・・・・・・ 30万円
- ◎大柳克雷センターアスベスト除去工事・・・・ 1,243万円
- ◎財政調整基金積立金追加・・・・・・・・・・ 1億1,020万円
- ◎減債基金積立金追加・・・・・・・・・・ 197万円
- ◎除雪機械等借上料追加・・・・・・・・・・ 100万円



大雪に見舞われた12月（入道地区）

皆さんからの請願・陳情

3月定例会に提出された請願・陳情は次の案件を採択と決定した。

1. 地域別最低賃金の引き上げと最低賃金制度の改正を求める陳情
秋田県労働組合総連合 議長 日野 充 外2名
2. 「公共サービスの安易な民間解放は行わず、充実を求める意見書」提出に関する陳情
秋田県国家公務関連労働組合共闘会議 議長 佐々木 嘉美 外3名
3. 社会保障制度の一体的改革を求める意見書提出の陳情
連合秋田湯沢地区連絡会 代表 伊藤 義彦
4. 勤労者・国民への安易な増税路線の撤回を求める意見書提出の陳情
連合秋田湯沢地区連絡会 代表 伊藤 義彦
5. 子育て支援の充実を求める意見書提出の陳情
連合秋田湯沢地区連絡会 代表 伊藤 義彦
6. 出資法の上限金利の引き下げ等、「出資の受け入れ、預かり金及び金利等の取締りに関する法律」及び「貸金業の規制等に関する法律」の改正を求める陳情
秋田県労働福祉協議会 会長 長谷川 秀夫
7. 雷害対策支援願いについての陳情
こまち農業協同組合 東成瀬支店長 佐々木 悦男 外3名

〔1～6の陳情については、国など各関係機関に意見書を送付した〕

主な予算・条例など

平成18年度の主要事業

- ◎公有林整備事業・・・・・・・・・・3,511万円
- ◎奨学資金貸付金・・・・・・・・・・3,300万円
- ◎地域活性化資金貸付金・・・・・・・・1億円
- ◎物産振興資金貸付金・・・・・・・・300万円
- ◎生活バス路線等維持費補助金・・・・350万円
- ◎地域生きがいセンター管理費助成金・・・・116万円
- ◎村単福祉医療給付費・・・・・・・・101万円
- ◎合併処理浄化槽設置事業改修費補助金・・・・4,000万円
- ◎夢プラン応援事業費・・・・・・・・264万円
- ◎自然乾燥米生産支援事業・・・・・・・・100万円
- ◎地場農産物販売対策補助金・・・・30万円



地元の新鮮な食材が並ぶ（なるせ直売所）

- ◎地域で創る水田農業支援事業・・・・・・・・113万円
- ◎中山間地域総合整備事業・・・・・・・・1億1,616万円
- ◎高能率生産団地路網整備事業負担金・・・・750万円
- ◎使える森を作るための路網整備事業負担金・・・・1,792万円
- ◎森林整備地域活動支援交付金・・・・1,690万円
- ◎観光施設補修工事・・・・・・・・800万円
- ◎橋りょう維持費・・・・・・・・1,030万円
- ◎ジュネス栗駒カントリーパーク事業・・・・5,179万円
- ◎公営住宅建設工事・・・・・・・・305万円
- ◎東成瀬小学校村費負担講師設置・・・・200万円
- ◎生涯学習推進事業・・・・・・・・305万円
- ◎子育て支援ネットワーク事業・・・・119万円
- ◎特定生活排水処理事業・・・・・・・・1億7,071万円

案	件
平成17年度一般会計補正予算（第8号）	（449万5千円 追加）
平成17年度国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第4号）	（936万円 追加）
平成17年度国民健康保険特別会計（直営診療施設勘定）補正予算（第3号）	（14万7千円 減額）
平成17年度老人保健特別会計補正予算（第2号）	（1,903万4千円 減額）
平成17年度介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第4号）	（535万6千円 追加）
平成17年度介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算（第4号）	（202万円 減額）
平成17年度簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）	（264万6千円 減額）
平成17年度下水道事業特別会計補正予算（第3号）	（8,086万8千円 減額）
平成18年度介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）への繰入について	
平成18年度簡易水道事業特別会計への繰入について	
平成18年度下水道事業特別会計への繰入について	
平成18年度一般会計予算	（総額26億7,500万円）
平成18年度国民健康保険特別会計（事業勘定）予算	（総額2億7,789万7千円）
平成18年度国民健康保険特別会計（直営診療施設勘定）予算	（総額5,700万円）
平成18年度老人保健特別会計予算	（総額4億102万8千円）
平成18年度介護保険特別会計（保険事業勘定）予算	（総額2億5,297万5千円）
平成18年度介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）予算	（総額3億115万6千円）
平成18年度簡易水道事業特別会計予算	（総額6,450万2千円）
平成18年度下水道事業特別会計予算	（総額2億1,649万2千円）

一般質問

伊勢谷 政 雄 議員

今後の農業政策をどう進める

村長／集落営農を中心に進めたい



問 現職から立候補を表明した村長に今後の農業政策を伺う。農業政策が目まぐるしく変化し職員も政策説明に追いつかない状況の中、「中山間地域直接支払交付金制度」第二期目がスタートした。十九年度から農業担い手育成を目的とした「集落営農」事業が始まる。また新たに、「農業・水・環境保全向上対策」事業も始まる。農業は工場で機械的に生産できるというものではない。自然環境に大きく左右される産業であることを理解し進めることが必要と思うが今後の農業政策を伺う。

答 「健康ひがしなるせ21計画」を積極的にすすめる

「健康ひがしなるせ21計画」を積極的にすすめる

問 「健康ひがしなるせ21計画」を積極的にすすめる

答 「健康ひがしなるせ21計画」を積極的にすすめる

問 「健康ひがしなるせ21計画」を積極的にすすめる

答 「健康ひがしなるせ21計画」を積極的にすすめる

「画」を積極的に進めることは、福祉・健康など村の多くの政策課題と重要な関連を持っていくと思う。医療費の削減・健康保険などにも効果を期待できると思うが、村長の考えを伺う。

村長 健康対策については「健康ひがしなるせ21計画」を中心に、「健康で働き、活力ある村づくりを目指して」をスローガンに七つの目標を掲げて推進している。村では食生活の改善や栄養教育ができるように民生課に栄養士を配置。特徴ある健康対策・住民検診対策・住民健康対策をより一層具休化した。

問 今後のダム事業での重要政策は

答 国道三四二号線が松山台地区で付け替え工事が行われているが今後ダム本体工事に向け、一帯で行われる掘削・盛土工事などによる河川の濁りについても今まで以上に注意しなければならないと思う。また、村では今後ダム関連事業を進める中で、重要と考える取り組む事業にはどのような事業を想定しているのか。

村長 ダム本来の目的達成のための事業を強力に推進していくと同時に、作られてしまいうダムではなく、自らが一緒になって作るダムを基本に据えて、村の活性化に結びつけていく必要があるという考えを進めてまいりたいと考えている。また、下流受益市町村にも、水源地に足を運んでいただき、流域が一体となって水源地の環境保全・ダム周辺の環境整備に関わっていただけるような事業に取り組んでいく必要があると考えるが、直轄事業者と協議を進めていきたい。

(文責は質問議員)



1号トンネル工事安全祈願祭(18.3.3坑内にて)

- 他の質問項目
- ・まちづくり計画について
 - ・村の手数料・使用料の今後のあり方について
 - ・職員手当等の見直しについて



佐々木 健 夫 議員

簡水統合計画のその後の進行は

村長／滝ノ沢を水源地に大字田子内統合を優先

問 岩井川から田子内までの簡水統合計画が、水源地の了解が得られず中止になっている。滝ノ沢簡水においては造ってから四十五年にもなり、石綿セメント管で消火栓もなく滅菌室も全く不備なもので受益の平等からも最優先で取り組むべきであり、これらを含めた統合計画はどのようになっているかを伺う。

村長 簡水の統合計画は、村内一本化或いは、二つ、三つにするとかを見据えて水源調査をしている。最も老朽化している滝ノ沢簡水と頻繁に漏水、不明水が発生している田子内簡水を優先し、これに経済的メリットを考えると大字田子内地区の一本化も有力な一案に考えている。滝ノ沢水源地进行し、地元関係者との協議をしているが、なかなか可能な線を見出せないでいる。水源地が大きな問題だが、関係者と協議を重ねて実現に向かって検討していきたい。

田子内簡水の水不足はタンクの増設が必要でないか
問 田子内簡水が水不足により、一月と二月で六日間、深夜に断水があったが、田子内

簡水配水タンクの容量が百三十八トンで、岩井川簡水二百五十五トンの五十五パーセントしかないようである。小学校統合、郵便局移設などにより、昼間人口が増加しており、漏水などの調査では解決しないと思う。配水タンクの増設が必要と思うが如何か。

村長 田子内簡水の水不足は現状では漏水と不明水がなければ容量には問題ないと思っ

**退院後入所できない
家庭介護の対応策は**

問 最近、入院している老人が早めに退院するように言われるようだ。退院後、熱などで体が不調な場合、施設入所もできないため家庭介護になり家族が大変難儀しているようだ。早期退院は看護師不足とか満室のためと言われているようだが、介護保険事業と医療機関の間の欠落部分とも思われる。村長は、JA厚生連病院の運営委員であり、然るべき機会に発言をしていた

だき、家庭介護の重荷を軽くすることができないものか伺う。

村長 質問の事例は私も伺っている。問題は、看護師不足よりも、循環器に係る方々が多く受診する第二内科の医師が新病院開業後に一気に退任されたことが要因のようだ。施設では熱などがあがる場合は病气とのことで受け入れがたく、この狭間にある方々が困っていると思われるので、医療機関と施設との関係をいろいろ検討して解決に向かって対応したい。

(文責は質問議員)



3月の誕生会には田子内踊りの会の皆さんが(幸寿苑)

他の質問項目

- ・まちづくり計画について
- ・指定管理者への委託関係について

一般質問

佐々木 昭次郎 議員

危険箇所カーブミラーの設置を

村長／交通安全上重要と認識している



問 村内の曲がり角や丁字路等の除雪による雪山で見通しの悪い箇所及び夏場でも危険な箇所など、子供たちの安全対策上必要と思われるところには早期にカーブミラーの設置をするなどの対策を講じてほしい。また、民家の屋根から降ろした雪を雪寄せ場に押しつけているため、快く思わない人もいるようだ。

村長 交通安全対策上、大変重要だと思っている。カーブミラーの設置には各地区の代表者等を通じて具体的箇所の指導をいただければ、関係機関に要望するなりして整備してまいりたいと思う。一般民家の屋根から村道等に落雪したところ、あるいは住民が寄せた雪については除雪路線であれば除雪をしている。具体的にどの箇所にどのような問題があるのか不明だが、交差点の壁落しなど安全上、必要な対策はとっている。

浄化槽事業は計画どおり
できているか

問 浄化槽の設置は出費もあるが快適な生活の一部分である。事業開始から五年目を迎える、特に近所ではいざこざは

聞いてないが、設置や排水管の埋設などでトラブルはなかったか。また点検は何ヶ月でするのか。

村長 現在四一二基を設置している。排水関係の問題では設置後に「私」の敷地内を通っているのと抗議を受けたことがある。理解を得て埋設したものであり、地域内でやっている事業なので土地所有者が支障なければ、地域で暮らす者同士仲良くしていくのが原点だと思う。点検時期は浄化槽法では年三回行うことになっているが、村ではより良い水質を保つために、雪で遅れたりする場合もあるが原則として年四回行っている。

十六年度以降の
農地の集積状況は

問 村でも集落営農の取組についての地区説明会があったが、認定農業者は今何名か。農業経営基盤強化促進法による農地の集積拡大の利用状況はどうか。農地がばらばらで数字上だけの集積とならないようにしているか。

村長 農地の利用増進状況は、四万二千㎡余り。十七年度は三万七千七百九十二㎡が認定

農業者に集積されている。本村の認定農業者は五十二名で、平均年齢は五十三歳だ。

滝ノ沢簡水本管の
早期改修を

問 何年も前から要望されている滝ノ沢地区水道管の入れ換えの件については、今後本管の統合の計画があると聞いているがその後の経過は。一日も早い実現を望む。

村長 滝ノ沢簡水本管の改修については、何回か自治会に対して説明をし協力を願っているところだ。全面的な統合を見据えて、課題が解決次第早急に取組んでいきたい。
(文責は質問議員)



集落営農などの説明会(まるごと自然館)

施政方針



村長

村有施設の指定管理者を指定

▼本村の十八年度予算は、骨格予算のため一般会計は約二十六億七千五百万円。行財政改革や効率的な行政推進のため、各種事業の見直しやさらなる事務的経費の節減を図り村政運営に努める所存である。

▼本村財政に影響の大きい地方交付税は約5%の削減。今後も注意深く動向を見守り、地方交付税制度の趣旨や機能の維持について関係機関に強く存続を要望していきたい。

▼十八年度から、公の施設の指定管理者として栗駒山荘・

スキー場・カントリーパーク・休養センター・大柳沼自然公園の五施設は秋田栗駒リゾート株式会社に、畜産センターはこまち農業協同組合を指定。他の施設も順次、指定管理者制度に移行の予定。

▼十二月二十八日に「雪害警戒部」を設置し雪害対策に備えた。人身に及ぶ重大事故や施設の甚大な被害の報告はなく安堵している。災害弱者と言われる世帯に対し新年早々に、役場職員の総力を挙げ「声かけ運動」を実施。訪問世帯

の状況把握に努めた。

▼現教育長の土谷順一氏より、三月二十二日をもって辞職したい旨の願い出が提出され受理した。また、以前から辞意の申し入れがあり慰留していた代表監査委員の佐々木良朗氏についても三月三十一日をもって受理することにした。教育長には三年九カ月にわたり本村教育の振興発展に、そして代表監査委員には五年余りにわたり本村行政の適正な執行のため、それぞれご尽力頂き、感謝申し上げます。



議場で退任あいさつをする土谷教育長



教育長

中学校体育館を大規模改造

▼昨年末に広島・栃木両県で小学1年生に対する凶悪事件が発生した。

小学校では事件発生後、児童の退校に合わせて学校周辺の巡回指導を実施し現在も継続中。教育委員会としても、「地域の子供は地域で守ろう」と、広報等で全戸に呼びかけをした。

▼東成瀬小学校の総合的学習での実践「ほたるの里をつくろう」が、社団法人日本水環境学会東北支部から、「東北・水すまし賞」を授賞される。

「ゲンジボタル」の育成を通して自然を守る心を育てる実践が認められたもので、3月10日に賞状を授与されることになっている。

▼東成瀬中学校体育館の大規模改造事業は、実施設計が完了次第に工事発注へと進むことになる。

中学校体育館は一般開放も行う施設であり、バリアフリー等も考慮にいれ、そして中学校職員の意見も取り入れて計画しているところである。

工事期間についても、中学校の協力を得ながら、授業になるべく支障がないように配慮し、できるだけ短期間に実施できるように関係者に働きかけていきたい。

平成18年度 予算審査

一般会計及び特別会計総額 42億円余りを可決



予算特別委員会での審査

予算特別委員会は全予算案を可決すべきとし
本会議では全予算案を満場一致で原案可決

平成十八年度の一般会計と特別会計の計八件の歳入歳出予算の審査は、議長を除く十三人の議員で構成する予算特別委員会（委員長・佐々木謙吉）を設置し、三月九日と十三日の二日間にわたり行われた。そのうち一般会計予算に関する主な質疑についてスポットをあてた。

オフトーク利用率向上を

問 オフトークを導入し、使い方も慣れてきたが、もっと効率的な利用を考えるべきと思うが如何か。

答 小中学校や農協等を含めた庁舎内外のメンバーで放送委員会を立ち上げているが、今後はもっとこの委員会の機能を高め、多面的な活用について検討していきたい。

県消防防災ヘリコプター負担金

問 これに約十八万円予算措置されているが、これは遭難などがあって、出勤要請した場合の回数による金額か。

答 県全体の年間の見込額に対する地域割や人口割により負担を求められるもので、出勤回数などによるものではない。

今後の公営住宅は

問 現在の敷地では満杯と思われるが、今後場所を別にして村営住宅を広げる計画はあるものか。

答 今後は住民の要望等を踏まえて検討が必要と思うが、二階野団地の整備が終わり、この事業は終了したことになる。

村道脇刈払委託料は

問 各地区で道路脇の刈払い等は実施していると思うが、これは地区で実施できない特殊なところなのか。

答 三又・岩井川線と日影線の二路線で、延長も長く地区での作業は難しいので委託しているものだ。

橋りょう維持費の内訳

問 村内の橋の補修工事を計画することだが、具体的にはどの橋か。

答 十二橋・のぞき橋・真戸橋・手倉橋・耳脇橋についての調査費である。

沼又最終処分場の委託料

問 この水質検査委託料に百万円近い予算が措置されている。今後はごみ処理場として使用しないということだが継続してこの経費を措置しなければいけないのか。

答 沼又最終処分場はまだ「廃止届」を出していない。閉鎖をした場合でも三年間は水質の検査管理などの監視義務があり予算措置が必要だ。



早朝からの共同作業（天江地区）



元気な返事でおかあさんもうれしそう（こぼと保育園入園式）

県国民保護選手権大会助成金は

問 村での開催なのか。これの内容を聞く。
答 六月十一日に村で開催したいとの要望がきている。実行委員を立ち上げての計画となるようだ。事業費の半分の七十万円を予算措置した。

保育所広域入所の内訳は

問 村外の施設に委託する児童数の内訳を聞く。
答 湯沢市の施設に六人。横手市十文字町に一人。合わせて七人が広域入所を申し出ている。

保育料負担金減の要因は

問 園児の数は少なくなっていないと思うが、昨年より三百二十五万円程減となつている。この要因は何か。
答 県で実施の「すこやか子育て支援事業」の補助制度が昨年八月から変わり、従来の「第一子0歳児」と「第三子以降」の無料化に加え、所得枠はあるが、すべての子供に保育料の四分の一を助成することになった。この補助金が増えたことにより、保護者からいたたく保育料が減額となったものである。

国民保護協議会とは

問 これに委員報酬が予算措置されているが、この協議会の趣旨はどのようなもので、委員は何人か。
答 国民保護について災害を含めた有事の際の対策に関する要綱を策定するように指示されているが、具体的には十八年度以降となる。委員については五人から十人程度。協議会への諮問と知事の同意を経て、村議会に報告し公表という計画だ。

地場農産物販売

今後の計画は

問 直売所の簡易ハウスのリース料補助金だが、参加者をもっと多くして本格的な建物などの検討をする意向はないものか。
答 十七年度は十四の個人・団体の参加で六月下旬から十月末までの土日・祝日に直売所を開設し営業をした。十八年度は五月上旬から営業開始予定だ。冬期間の問題もあるが、今後は参加者の希望や意欲などを勘案のうえ、施設の拡大なども視野に入れていきたい。

建設機械は何を購入予定か

問 二百万円の予算だが、どのような機械を購入予定か。
答 ドーザーと小型ロータリー及び融雪剤の散布車がいずれも老朽化しているため、この三台について県の払い下げを要望している。

観光費修繕料の支出予定は

問 八百万円の予算だが、これの主な支出予定は何か。
答 ビューポイント栗駒や天正の滝等の観光施設の雪の被害に対して三十万円。あとは栗駒山荘の修繕料を予定している。

自治功労表彰



鈴木 秋雄 議員

議会議員として多年在職し、地方自治の振興発展に寄与した功績が認められ、秋田県町村議会議長会会長から表彰を受けた。



栗駒に春のにぎわいを

(4月7日 天ヶ沢付近の春山除雪)

四季の ONE SHOT

今、国会が開会中である。大事な平成十八年度の予算審議中って本当なの？偽装だ、偽メールだのって、一日数億円かかるというのに、もったいない。ところで、ここ数年来靖国問題（英霊合祀等）で近隣国と政府間交流ができないという。馬鹿げているが、現実だから困った事だ。

先日、産経新聞「正論」紙上で著名作家上坂冬子氏が論じたコラムを見た。それによると、日本と四十八カ国で交わした「サンフランシスコ平和条約」にてこの問題はすでにケリがついており、この条約に署名・批准していない彼の国々は、戦犯について国際条約の上で発言資格が無しとされる（第二十五条）、という核心の一点に尽きる。

今は日本国としてこの条文を根拠に毅然として声明を出すべきだというのだ。正に正論と思うが、皆さんはどう思いますか。

(副委員長・佐々木喜榮知)

編集室

私もひとごと



岩井川
谷藤 優輝さん

「自然からの恵み」

この村の最大の特長は豊かな自然だと思います。面積の93%が山林というほど自然に溢れています。また、成瀬川も流れており常に自然と隣り合わせて僕たちは生活しています。

この自然は僕たちに様々な恵みを与えてくれています。「成瀬音頭」の歌詞にもあるとおり、春はぜんまい、わらび、タケノコ等の山菜、夏はイワナ、ヤマメ等の川雑魚、秋のキノコ、山の紅葉等を楽しんでいます。また、冬は毎年たくさん降る雪を活かしたスキー・スノーボードを楽しむこともできます。

このように僕たちは自然と季節から様々な恵みを受けています。

しかし、現在世界的に森林伐採が進み、一年間で日本の3分の1もの森林が減っていると言われていました。そのうち東成瀬の森林も失われていくかもしれません。

そうならないように、皆が自然の大切さを念頭におき、小さなことからコツコツと努力していきたいものです。

■発行/東成瀬村議会 ■編集/議会広報対策特別委員会
〒019-0801 秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字仙人下30-1
TEL.0182-47-3411 FAX.0182-47-3260
E-mail: gikai@vill.higashinaruse.akita.jp

■印刷/株式会社増田印刷所